

令和5年度 学校評価について

北区立王子第二小学校
校長 江口 千穂

多くの保護者の皆様に学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。

学校教育目標の達成に向けて日々取り組んでおります。各内容の達成状況について児童・保護者の皆様、学校評議員の皆様のアンケート結果と考察、いただいた質問やご要望への回答及び改善点等についてご報告いたします。

令和5年度 学校評価アンケート集計

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ 十分当てはまる ■ まあ当てはまる ■ あまり当てはまらない ■ 全く当てはまらない □ よくわからない

【保・評】保護者・学校評議員 【児】児童

【全体として】

保護者の皆様に回答をいただいた評価の「十分当てはまる」と「まあ当てはまる」の肯定的な回答の割合が各質問項目において概ね 80%を超えています。5「体験的な活動」については昨年度よりも 7 ポイント高く 93%でした。生活科の学習や外部講師による体験的な活動の充実が児童の大きな学びにつながっているというご意見もいただいております。引き続き体験的な活動を年間指導計画に組み入れていきます。8「体力の向上」については昨年度より 12 ポイント減少し 80%でした。児童は昨年度と変わらず 88%が「運動が好き」と肯定的な回答をしているため、引き続き体育科の授業改善に取り組み、教員の指導力向上、運動委員会による王二オリンピックやなわとび週間を計画的に行うなど、運動が苦手な児童も楽しみながら活動できる魅力ある授業作りや健康教育に努めていきます。15「地域学習・伝統文化」について、肯定的な意見が昨年度よりも 5 ポイント上昇し 83%でした。児童の回答も 3 ポイント上昇し 95%が肯定的な回答でした。今後も校外学習や講師を招いての体験学習などを通して、地域の魅力が感じられるような学習活動を取り入れていきます。

【自由意見より】 ※内容を一部抜粋して掲載しております。

学習について

○授業中の環境について

- ・保護者に手伝えることがあれば、出向くことも可能。子ども達にとってより良い環境で授業が受けられることを願う。
- ・保護者も巻き込み環境改善に努めていただきたい。
- ・学力を育む場として、十分な取り組みがされているとは感じられない。学校として、対策とともに保護者に説明していただきたい。
- ・学習意欲があり集団生活をきちんと送れている子どもが、安定して授業を受けられるよう、適宜個別対応もとりながら活動を進めて欲しい。

→子ども達が落ち着いて学習に取り組むことができるよう保護者の皆様との連携、情報共有に努めてまいります。今後とも授業の見守り等ご協力くださいますようお願いいたします。

行事・特色ある教育活動等について

○特色ある教育活動について

- ・具体的にどのような施策を以って取り組んでいこうとしているのかを示していただきたい
→N I E 活動等で思考力・判断力・表現力等を育む、地域の人材や近隣施設などを活用し伝統文化に対する興味・関心を高める、たてわり班活動（異学年交流）で他者を思いやるやさしい気持ちを育む、体力向上や健康教育の取組などがあります。
- ・王子地区の伝統芸能『王子田楽』を、総合学習などで学ぶ機会を作ってほしい。

→現在 3 年生の総合的な学習のカリキュラムの中で、「地域の伝統行事」として講師をお招きして田楽の体験させていただいています。様々な地域の体験を通して地域の魅力を感じられるように計画していきます。

○運動会について

応援合戦は地域の伝統を取り入れたプログラムで王二小の特色ある取り組みだったが復活はなく残念。子ども達が生まれ育った地域の文化に親しめるような活動の継続を今後も期待する。
→熱中症対策等を踏まえ、子ども達の負担にならないよう運動会が午前中に終了するように計画しています。地域の文化に親しめる活動については、運動会以外の活動も含め検討してまいります。

教員の指導について

○担任がきめ細かく見てくれありがたい。

- いつも子ども達のことを最優先に考えて取り組んでいただきありがたい。
 - 子ども達にもう少し向き合ってほしい。
 - 教師の対応により、意欲がある子のやる気が削がれてしまうこともある。
 - クラス内で問題が起きた場合、抑止力のためにも、保護者の方に伝えることも大切
 - いじめやトラブルがおこった際は、まずは加害者側の子どもへの指導（カウンセリングを含め）をしっかりと行ってほしい。
- 子どものトラブル等には迅速かつ組織的な対応を行い、今後もきめ細やかな指導を行ってまいります。

職員の働き方改革について

- 教職員の心身・私生活が充実してこそよりよい学校作りに繋がると思うので、残業時間の短縮にも努めてほしい。
- ご心配いただきありがとうございます。今後も校務改善につとめ、教職員の働き方、健康にも留意し、子ども達のためによりよい教育活動が展開できるよう努めてまいります。

服装について

- 冬の服装について、体調も体感温度も人によっても日によっても違うのに着る物を自分で決められないのはなぜなのか、標準服必須ではなく着ても着なくても良いものに変えられないか、子ども達みんなで考えていくことが教育ではないのか。
- コロナ禍の昨年度までは、感染症対策で常時換気が優先され、子ども達の健康を守るために上着等を着用して授業を受けることもありました。今年度は換気等の対策を継続しつつ、個人差に応じてセーター着用等声かけを行っております。本校では標準服が採用されているため、その着用の仕方については多くのご意見をいただいているところです。子ども達も交え考えていけるよう検討してまいります。

登校班について

- 登校班については、個人の差が大きく、合わせるには限界がある。子どもや保護者の方の精神的な負担軽減のためにも、個人の登校を望む。
- 1月にお知らせした通り、PTA本部、校外委員長、校外委員のみなさんと協議をした結果、来年度は5月の大型連休明けから全学年個別登校といたします。

学校生活全般について

- 学校でしか学べないこと、集団活動を通しての学力向上や体づくり、友人関係や先生方との関わりなど将来に必要な学びがたくさんある。今学ぶこと、経験する大事さを子ども達に伝えていただきたい。
- 異年齢交流は、子ども達の成長にとって大変有意義な事と考えている。引き続き、活動への支援をお願いしたい。
- 課外活動が充実しており、学校の勉強だけでは得られない様々な経験ができています。
- 学年の垣根を越えて協力し合う姿や、クラス・性別を越えて遊ぶ姿を見ることができてありがたい。
- クラス、学年を越えて担任以外の色々な先生の授業が受けられると、子どもと先生両方に良いのではないかと思います。引き続き継続して頂きたい。
- 地域の子どもの健全育成活動（青少年委員会、青少年地区委員会 等の活動）に対して、ご理解とご協力をいただきありがたい。子ども達たちにいろいろな体験をさせてあげてほしい。
- おいしい給食でありたい。
- 給食を食べるときに、班ごとに机をつけて食べると子ども同士の絆がもっと深まるのではないかな。

- 保護者の皆様からご意見を多数お寄せいただきました。学校への期待や励ましの声もたくさん頂戴しました。今後の教育活動に生かしてまいります。